



陽風語録

子供叱るな来た道だもの
年寄大事に行く道だもの
来た道 行く道 二人旅
通りなおしの ときぬ道

就任ご挨拶

理事長 奥

清

社会福祉法人陽風園の理事長に就任いたしました。先ず、園祖小野太三郎さんの墓前に額ずき、心引き締る思いとともに、在りし日の人となりをおぼえました。

園祖太三郎さんは十歳の時、近くの近江町市場へ遊びに出掛けました。市場の中程まで来ましたら大勢の人だかりです。何だろう？と覗き込むと、甲羅の大きさは一メートル余、足の太さは二握りほど、大きな海亀が繋がれて放し亀と看板が立てられています。甲羅には赤く”幸”という字が書かれています。この亀に向かって小銭を投げ”幸”という字に当てると、今年一年は幸福になれると、みんな小銭を投げています。

そこから少し離れた所に、一老人が坐っています。頭は白髪・衣は破れ・裸足、腰も曲っています。お椀を前にして「お恵みください」と物乞いをしています。誰も見向きもしません。亀には小銭を投げますが老人には恵んでくれません。太三郎さんは腹が立ちました。「なんと惨い事だろう。亀よりも人間の方が大事なのにどうして分らないんだらう。子供の僕でも分かるのに……。よし！僕が大きくなっても亀にお金を投げるような人間にならない。お年寄りを心から大事にしてあげる人になろう！」と心に誓いました。夕方遅くなっても老人の側を離れませんでした。と福祉の先覚者 小野太三郎さんの一節が、金沢偉人物語に記されています。私も、太三郎さんのお心を肝に銘じ、誠実にお勤めますと手を合せて第一歩を踏み出しました。至らぬ者ですがどうぞよろしくお願いを申し上げます。

高齢者の一人

陽風園診療所所長 河合 卓一

長年若い世代に囲まれてきたので、介護や福祉はあまり関わりが無い世界だった。弾ける若さ、溢れる望み、苦い挫折、限りなき可能性が赫いマグマとなって、そこから発するエネルギーが陽光のように若い気分にさせてくれた。鏡でわがボウブラ顔を見ない限りは、縁あって陽風園にきて3年余、介護の雰囲気をどっぷり肌で感じるようになった。行きずりの他人の会話、消し忘れたテレビから「介護」と聞こえてくると、何の話？一瞬心の動きが止まる。

ここでの介護の対象者は殆どが高齢者だ。高齢者とは一定の年齢以上で職業生活から引退し、社会の第一線から退いた人となっている。

WHO（世界保健機関）では65歳以上を高齢者として、74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者としている。だが、80歳でも90歳でも矍鑠とした方はこんな決め方に納得できないだろう。

70代後半の僕は勿論該当者だがWHOの決めた事に異議を唱える

程の見識もないので、まあ妥当だろうなと思っている。

「それで貴方は後期高齢者として陽風園に来ていたわけ？」

厚生省は本年4月から後期高齢者を対象とした医療制度を予定している。今の時点（2月初旬）では詳細は分からないが、いずれ74歳と75歳以降とは同じ病気であっても医療面で差が出てくるであろうか。もし新しい制度の目的が、囁かれているような医療費の削減にあるとしたら寂しい話だ。

我が国の総医療費のGDP（国内総生産）に占める割合はOECD（経済協力開発機構）の発表によると加盟30カ国中21位と低い位置にある。また7月に開かれる、先進8カ国による洞爺湖サミット参加国の中では、統計がないロシアを除いて最低国となっている。我が国がしめる長寿世界一の座が脅かされなければ良いのだが。

アナン前国連事務総長はマドリードの国連高齢化問題会議で述べている。「高齢者は過去から未来への架け橋です。」

高齢者の世界も千差万別。かなりの御高齢でも歩き回る方とは廊下などで挨拶する機会が多くしばしば元気づけられる。またもつと超高齢の、ベッドの中が日常生活になっっている方にもお目にかかるが、地肌の透けた白髪の際ら半覚半睡の相貌を拝見していると、

今までの来し方、行く末が想像されて様々な感慨がわいてくる。その方々の立ち振る舞いや醸し出す匂いが、明日の我が姿を見るように参考になる。時に我が身に幾ばくか残っているかもしれない若さの残映も吸い取られそうな気分になるが、ここでの出会いを大切に利用させていただいている。

「じゃ、利用者じゃないですか？」
ある朝、目が覚めたら浦島太郎のようにパツ！と高齢者になっているわけではない。今までの人生の積み重ねが高齢者を造っている。僕個人のきわめて狭い思いだが、老齢とはその蓄積をなし崩しに消費しながら生かされている余生、と云った気がしないではない。

「ほう、それで貴方にはその蓄積とやらがお有りになるのですよね？」

昔読んだサミエル・ウルマンの詩の一節を思い出しました。

「青春とは人生のある期間を言うのではなく心の有り様を言うのだ。優れた想像力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を退ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心。

こういう有り様を青春と言うのだ。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うときに初めて老いがくる。……

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。

人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる。

希望ある限り若く 失望と共に朽ちる……

久し振りに読み直してみても、人生の残高を数えているわが老いの有り様に改めてがっくり、まあ仕方ないかと諦めたり、そしてどうしてだか、ちよっぴり反省もしてみたり。

「ところで貴方の青春度はいかが？」

園 だ よ り

節 分 祭

二月一日金曜日、今年も節分祭
を迎えることができました。

毎年講堂にて一斉に行われてい
た豆撒きでしたが、今年は少し趣
をかえて各施設にて実施されまし
た。そのひとつ万陽苑では・・・

二階の大食堂は、豆まきが始ま
る前から大賑わい。数名の年男・
年女の方が中心に、その他大勢の
方も加わり盛大に始まりました。

こわい鬼役には男性職員、そ
して、豆まきには奥理事長、閑澤
施設長も参加され一層会場はヒー
トアップし、窓ガラスが曇る程に
終始会場は熱気に包まれました。

最後になりましたが、今年もす
べての方々に沢山の福が来ますよ
うに。



交通安全チヨコつと

アドバイス

二月十四日講堂で交通安全チヨ
コつとアドバイスが行われました。
平成十一年から開催され今年で十
年をむかえました。

今年も石

川県金沢中
警察の方々、
金沢中女性
ドライバー
の会の皆様
をお招きし

ました。始めに交通巡視員による
道路の横断の仕方や、反射材の着
用など盛り込んだ寸劇、また金沢
中女性ドライバーの方による踊り
などを披露し

ていただきました。
最後に
利用者一人ひ
とりにチヨコ
レートのプロ
ゼントをいた
だき、交通安
全を祈りまし
た。



施 設 だ よ り

向 陽 苑

新春 福引大会

平成二十年一月九日水曜日、講
堂で新年会が行われました。

内容は福引大会と喫茶で、施設
長のあいさつの後、福引コーナ
ーは瞬く間に長蛇の列となりました。

景品は、特等五本、一等二十五
本、二等二十本、三等百十本、四
等八十本で十五種類の中から当た
ります。

今年初めての運だめしとあって、
力が入り勢い良く回し過ぎてなか
なか玉が出てこない方や緊張した
面持ちで慎重に回す方、願いを込
めながらゆっくり回す方など様々
でしたが、出て来た玉の色を見て、
皆、一喜一憂していました。

見事、特等の「枕パット&モー
ルドフィン構造低反発枕」を当て
た五人の方に感想を伺ってみると、
「玉の色を見て、やったーと思った。
くじ運はいつも良くないから嬉し
い。」

「今度、娘が面会に来たら一緒に
開けるんや。たのしみにしとるわ」

「大事にとっておく」

「今のがだめになつたら使う。い
い夢見られそうや。」

「ちらっと見て、何か分からんけど、
後でゆっくり見るわ」

と、一様に嬉しそうでした。

福引の後は、喫茶コーナーでぜ
んざい、飲み物でお腹を満たし、「何
当たった?」「私これや」と、見
せ合い話を弾ませる姿も見られま
した。そして、残念ながら特等を
当てられなかった方も、大事そう
に景品を抱えて居室へと戻られま
した。



施設だより

万陽苑

初釜

初釜とは、「その年に初めて茶の湯の釜を据え、お茶を点てること」だそうです。初釜と申しましても正式な茶事を行うわけではありませんが、利用者の方々に気持ちよく過ごしていただくため、職員一同いろいろと準備を進めてきました。舞台設置よし！茶器はよし！茶花はよし！お茶菓子は？：よし！茶菓子は、三つの練り切り菓子をご用意し、皆がそれぞれの銘を確認しておきます。お抹茶の銘は？確認しました！お運びさんは？：着付けは大丈夫です！今年はお女子職員四名が着物を着てお運び役としての参加です。

一月九日午後二時、琴の調べの流れの中、いよいよ初釜の始まりです。お点前を披露する職員の周りには、大勢の利用者の方が集まっておいでます。また、それぞれの席でも楽しみに待っている方はいっぱいいます。そんな中でも、まず皆さんが目にするのが、着物です。「あ



ら、見違えるわね」「素敵なお着物やね！」「ありがとうございます」「私も昔はよく着たもんや」

「この帯いいわねえ」職員の着物姿に利用者の方との会話も弾みます。「お菓子をおひとつどうぞ」「お菓子は何か？」「松」と「梅」と「鶴」でございます（憶えたての銘を伝えます。「あら、めでたいお菓子やね。それじゃあ、松」いただきます）

（お抹茶です、どうぞ）「ありがとうございます」大勢の方にお待たせすることなくお出しするため、陰点でもさせていただきます。たまには、「どうして飲めばいいの？」と聞かれる方も：（どうぞご自由に、好きに飲んでいただければいいですよ。）

「美味しかったわ」「結構なお点前でした」（ありがたうございます）かすかに松風の音が響き、にぎやかで華やかな中にも、凜とした清々しさが漂っています。

新しい年を迎え、利用者の方々と共に集うお抹茶のこの時間。楽しんで頂けた様子です。また、来年もこの時間を大切にしたいものだとあらためて思う初釜のひとときでした。

木越デイサービスセンター

ヨガ教室

十一月の健康教室では「ヨガを学ぼう」と題して体験型の教室を開催しました。今回は大浦公民館と共催し、ヨガセラピーの中沢孝子さんを講師に十三人が受講しました。まず、ヨガの基礎知識として呼吸法を学んだ後、椅子に座った状態で行えるポーズ（高齢者向けにアレンジ）を紹介していただきました。

ヨガは、ポーズや瞑想を通じて健全な心身へと導いてくれる作用があり、いつでもどこでもできる魅力があります。体験後のアンケートでは、「瞑想を感じさせるゆったりとしたポーズで心身ともにリラックスできた」「ヨガを身近に体験できてよかった」などの声が寄せられました。

今後とも介護予防の拠点の一つとして高齢者の元気づくりのために色々な工夫した教室の開催を企画したいと思っております。



陽風園日記

11月

南小立野小学校ふれあいサイクル希望の会歌謡・舞踊・

マジックボランティア ボランティアグループ白鳥の会 (陽風園)

報恩講 (陽風園・第二万) 誕生会 (各施設) 喫茶

(万陽・第三万・三陽・ハビリ) ショッピング

(向陽・万陽・第三万) 三陽祭 (三陽ホーム)

秋の日帰り旅行 (万陽苑) フェスタハビリ

希望者旅行 (ハビリポート若葉) ビデオ上映会 (第二万・ハビリ)

風船バレー大会 (第二万) 保育参観

お父さんと遊ぶう会 祖父母の集い (みずき保育園)

木越デイサービスセンター利用者のみずき保育園児と交流会

(木越デイ・みずき) 菊川・つつじが丘・崎浦・内川

大桑健康づくり教室・泉野連絡会 (地域福祉支援センター)

(地域福祉支援センター)

施設だより

第二万陽苑

デザートバイキング

第二万陽苑では一月三十日に「福引大会」を行いました。当日はお楽しみメニューが満載で昼食後にはデザートバイキング（桃まんじゅう、ミニレアチーズケーキ、プリンアラモードから選択）で別腹(?)を満たしてから、レクリエーションとして福笑い、カルタ等で、皆さん大笑いしながら過ごされています。

そしていよいよ福引大会の始まりです。福引の方法はくじ引きで行い、皆さんは気合を入れてくじを引いていらっしゃいました。福袋の中身は、タオルやトートバック、マグカップなど実用的な物が多く入っており、皆さんはとても喜んでおられました。また、この日は初釜も行われ、職員が点てた抹茶を和菓子と一緒に美味しそうに召し上がっている姿が多く見られました。来年も工夫をこらした福引大会を企画したいと思います。



第三万陽苑

誕生会

当苑の誕生会は、毎月、第三土曜日に会議室を利用して行っています。

会場は、主役の誕生者の方々とそのご家族、担当の職員のみで行い、自宅にいるような寛ぎや安心感を得られるような家庭的な雰囲気作りに努めています。

誕生会は、施設長から皆様へのお祝いの言葉が始まり、ジュース、コーヒ、昆布茶など、様々なメニューの中から、お好みの飲み物を選んでいただき、代表の誕生者からお言葉を頂戴し乾杯となります。

さて、誕生会といえばケーキですが、当苑ではお一人おひとりの状態に応じてスポンジケーキとムース状のケーキをご用意しています。部屋の明かりが消され、それらにろうソクの火が灯されると、毎回その幻想的な光景に感嘆の声が起ります。微かなともしい火のなか、ご家族そして職員と一緒に「ハッピーバースデー」を合唱し、ろうソクの火が吹き消されます。その頃には、皆さんの緊張も解けたようで会場もにぎやかになり、続いてご家族からのバースデーカードを出席されたご家族には直接お読みいただき、ご



都合で出席できなかったご家族には施設長が代読させていただきます。カードと共に色とりどりのお花をお一人ずつにプレゼントします。その後は、誕生者の方々を囲んでの記念撮影や誕生者同士で昔の思い出話に花が咲いたり、若かりし頃の流行歌を一緒に歌ったり、にぎやかで楽しいひとときを過ごしていただいています。

出席された方々からは、「孫やひ孫にカードで祝ってもらい、本当にうれしかった」「この歳で誕生会は、恥ずかしいけど楽しかった」などのご意見が聞かれ、皆さんの普段とは違った生き生きとした表情や、ご家族と楽しそうに談笑される光景は毎回たいへん微笑ましく感じられます。

今後ともなるべく多くのご家族に参加していただき、よりいっそう皆さんの笑顔が見られるような企画作りに努めたいと思います。

12月

石川県知事歳末慰問

金沢市長歳末見舞

美容ボランティア

西条康夫歌とマジックボランティア

押野ときわ会大正琴ボランティア

京あすかクリスマスコンサート

(陽風園)

年忘れ会

誕生会

(各施設)

喫茶

(向陽第二万・第三万ハビリ・木越デイ)

ビデオ上映会 (第二万・ハビリ)

未就園児とお父さんの遊びの会

歯科検診

繭玉づくり・餅つき

小中学生との交流会

クリスマス会 (みずき保育園)

菊川・つつじが丘・十一屋・大桑

内川健康づくり教室・泉野連絡会

(地域福祉支援センター)

木越デイサービスセンター利用者と

みずき保育園児と交流会

(木越デイ・みずき)

ゆず湯

終い湯

(各施設)

仕事納めの式

(陽風園)

施設だより

三陽ホーム 冬の華

三陽ホームの園芸班は、一年を通じて花や観葉植物などを育てていますが、晩秋から早春にかけては気温が低く天候も悪いため、屋外での生育は困難で、温室や室内での管理が基本となります。

この時期の主役は洋ランです。コチヨウランやシンビジウム、デンドロビウムなどを栽培していますが、特に温度管理が難しく、試行錯誤しながら、日々奮闘しています。

今年には特に透感感のあるシンビジウムが上手く育ち、色彩豊かなたくさんの方に利用者の職員とも心が癒されています。また、優美なコチヨウランも元気なものも多く、ぐんぐん花芽が伸びてきているので、素敵な色彩を放つ大輪の花を見せてくれるでしょう。皆さん、楽しみにして下さいます。



ハビリポート若葉 門松作り

ハビリポート若葉では、毎年年末を迎えるころ、利用者職員が協力しあって、「門松」の製作にあたっています。

まずは材料の用意です。職員が奔走して、土台となる竹や飾り付けの南天、梅、松、くま笹の葉等々を準備します。伐採した竹を適度な大きさに切断する作業から始まり、次にその竹を乾燥させ縄を巻いていきます。利用者の手馴れた動きに感心させられ、職員も負けじと縄を手に奮闘しました。

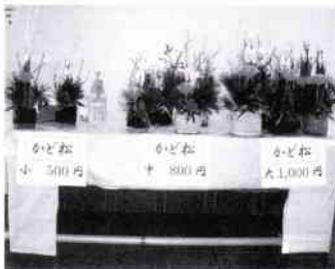
三種類の大きさのものを製作するため、飾りつけ用の竹の太さにも気を遣わなければなりません。「この太さなら（大・千円）やなあ、これは（小・五百円）、これやったら（中・八百円）か（小）やけど；迷うなあ」など、なかなか選別にアタマを悩ませながら作業を進めていきました。土台と飾りつけの竹ができると、次は仕上がり左右する飾りつけです。去年の門松の写真を見たり、職員が各々

持ちよったチラシなどを参考に、「少しでも良いものを作りたい」という一心で仕上げの作業に取り組みました。

「門松」には「新年に、歳神（としがみ）を迎える依代（よりしろ）」として家々の門口に立てて飾る松」という意味が込められており、新年を迎えるにふさわしいものとなるよう、ひとつひとつに気持ちを注ぎながら、利用者、職員が心をひとつにし、作品の完成となりました。

仕上がった「門松」は大変好評で、「毎年買っているのよ」とおっしゃる利用者のご家族も大勢いらつしやう、これからも毎年欠かすことなく続けていきたいと思えます。

若い職員が、年配の利用者から教えていただく良い機会でもあり、学ぶべき点も多くあります。このような交流の場（機会）が一層広がればと感じました。



陽風園日記

1月

年頭のあいさつ・仕事始めの式

(陽風園)

初釜

(向陽・第二・三陽)

初詣

(木越デイ)

初湯

新年会

誕生会

(各施設)

喫茶

(向陽・第三・三陽・ハビリ・木越デイ)

ビデオ上映会 (第二万・ハビリ)

発表会・保育参観

(みずき保育園)

保護者会総会 (ハビリポート若葉)

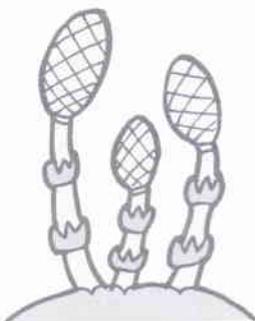
十一屋・つつじが丘・崎浦・

大桑健康づくり教室・泉野連絡会

(地域福祉支援センター)

理事会・評議員会

(陽風園)



施設だより

あけぼの作業所

新年会

一月二十三日(水)、あけぼの作業所の新年会が行われました。今年の新年会はこれまでとは趣向を変え、風情ある滝亭での実施となりました。園からも近く馴染みのある滝亭ですが、あけぼの作業所では初めての利用となります。手の行き届いた庭園に素晴らしい料理、景色の良い露天風呂と、どれも日帰りではもったいなく思えるほどでした。利用者の方々も、食事や温泉はもちろん、大好きなカラオケも行い、楽しいひと時を過ごされていました。宴席では新年会の恒例となっている「今年一年の抱負」をそれぞれが発表したのですが、作業やスポーツ大会、プライベートなど、各々が自分の目標をしっかりと持って今年一年の意欲につなげており、職員もその目標に向けた手助けを少しでも出来るよう気持ちを新たにするなど、利用者・職員共々とても有意義な一日となりました。

みずき保育園

キッズサポーター隊結成

一月十七日にみずき保育園キッズサポーター隊が結成されました。当日は、平寿彦隊長他十数名のサポーター隊の皆さん、警察関係、市長のメッセージを携えた市関係、年長児、保護者代表らが集い、無事発足式を終えることができました。キッズサポーター隊は木越に保育所があった頃結成され、それが母体となり大浦小学校のスクールサポーター隊へと活動が広がり、その活躍ぶりは「金沢方式」等とマスコミに取り上げられ、全国的に活動の輪が広がっています。昨今、子ども達を取り巻く痛ましい事件が多い中、心強い助っ人を得て嬉しい限りです。地域ぐるみの防犯は犯罪を遠ざけます。そして皆に見守られているという安心感が子ども達や親、保育士達を伸びのびとさせてくれます。犯罪を起こさせない町づくりを目指すキッズサポーター隊の皆様のご厚意に感謝すると共に保育園としての自助努力も真剣に考えて行かねばと思っております。



入園者の変動状況 (11月~1月)

施設名	入園者数 (2月1日現在)	入 所	退 所
向陽苑	240	3	2
万陽苑	184	30	41
第二万陽苑	146	12	15
第三万陽苑	145	10	15
三陽ホーム	106	2	0
ハビリポート若葉	209	1	1
あけぼの作業所	40	0	0
みずき保育園	182	1	0
診療所	15	21	18
合 計	1,267	80	92

在宅サービス利用状況 (11月~1月)

施設名	事 業	延人数
万陽苑	ショートステイ	312
	デイサービス	1,006
	ホームヘルプサービス	332
	配食サービス	467
	移送入浴サービス	48
	居宅介護支援事業	519
	お年寄り地域福祉支援センター	予防プラン 介護相談
木 越	デイサービス	907
	居宅介護支援事業	105
第二万陽苑	ショートステイ	191
	ホームヘルプサービス	245
	居宅介護支援事業	86
金沢南	居宅介護支援事業	278
第三万陽苑	ショートステイ	623
	デイサービス	712
	居宅介護支援事業	171
ハビリポート若葉	ショートステイ	14

ふれあいのまちづくり事業活動

講師派遣日数			
11月	12月	1月	計
0	0	0	0

感謝録

11月～1月

(順不同・敬称略)

ボランティア

- 希望の会・浅田あきら一座 (金沢市)
- ボランティアアグループ白鳥の会 (金沢市)
- 押野地区ときわ会 (金沢市)
- PL金沢南教会 (金沢市)
- 真如苑 (金沢市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- 内川学童クラブ (金沢市)
- マハロフラスタジオ (金沢市)
- フレンズ優 (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 内川校下婦人部 (金沢市)
- 竹中 誠 (かほく市) 川崎 睦 (金沢市)
- 吉岡 麻衣 (金沢市) 小山 未貴 (金沢市)
- 酒井 香江 (金沢市) 茜 理沙 (金沢市)
- 中島真友子 (輪島市) 茜 麻里 (金沢市)
- 葭田 和行 (金沢市) 南 恒太 (金沢市)
- 勝尾外美子 (金沢市) 宮口 文泰 (金沢市)
- 新畑 光文 (金沢市) 安岡 龍男 (金沢市)

寄附物品の部

- 西条 康夫 (金沢市) 京 あすか (金沢市)
- 西田 将機 (金沢市) 宮脇 有希 (金沢市)
- 荒間 知子 (金沢市) 高窪千寿子 (金沢市)
- 明治安田生命保険相互会社金沢支社 (金沢市)
- J A石川県女性組織協議会 (金沢市)
- 押野地区ときわ会 (金沢市)
- タケシヨウ (金沢市)
- (株)サンライン (金沢市)
- 石川県電気商業組合 (金沢市)
- 石川交通南営業所 (金沢市)
- 美川婦人会 (白山市)
- (株)世界文藝社 (大阪府)
- 吉井 幸司 (金沢市) 太田 富枝 (金沢市)
- 松本 恭典 (金沢市) 辻 トシ子 (東京都)
- 高田千恵子 (金沢市) 笹尾 竹松 (加賀市)
- 永井五十鈴 (能美市) 谷 一則 (金沢市)
- 小坂 敏子 (金沢市) 新保 裕子 (金沢市)
- 堅田 (金沢市)

寄附金の部

- 菊川社会福祉協議会 (金沢市)
- 西村 昭孝 (内灘町) 志田 清丸 (金沢市)
- 関 稔 (金沢市) 大西 吉信 (小松市)
- 普照 豊 (野々市町) 藤元 充章 (金沢市)
- 松崎 俊夫 (白山市) 下田 忠夫 (横浜市)
- 桶 怜子 (金沢市) 小西 和子 (金沢市)
- 末田佐智子 (金沢市) 東藤 登 (野々市町)
- 小山 浩二 (中能登町) 米田かずえ (能美市)
- 飯田 實 (金沢市) 宮野 順子 (野々市町)
- 小野 陽子 (金沢市) 浅田 (野々市町)
- その他匿名 三十五名

ご厚意ありがとうございました。

3月11日に米スペースシャトルに搭乗予定の土井宇宙飛行士に金沢市東京事務所長より陽風園が送った千羽鶴を手渡す。

